

1 研修の実施

座学研修

「チームかつしか」を作る～福祉を超えたつながり～



目的	重層的支援体制整備事業について、多機関連携によるチーム支援をより一層強化していくため、区内の支援者同士でより良い連携支援のあり方や連携時の留意点などについて学ぶ。
日 時	令和7年5月2日
出席者	87名（区職員35名+関係機関52名）
講 師	十文字学園女子大学 副学長 今井 伸氏



事例研修

「地域で支え合う福祉！事例から学ぼう」

目的	実際の事例を活用したグループワーク形式の研修を行う。 多機関連携時に必要な視点や知識を学び、チームとして連携することの効果や意義を再認識するとともに、支援者・支援機関同士の顔の見える関係を構築することを目的に年間で全3回の研修を実施する。		
日 時	【第1回】令和7年7月29日	【第2回】令和7年11月11日	【第3回】令和8年2月6日
出席者	46名（区職員24名+関係機関22名）	39名（区職員20名+関係機関19名）	※定員40名で募集予定
テー マ	ごみ屋敷について	災害時の住民と行政の連携について	地域づくりについて
内 容	ごみ屋敷問題について、当事者や近隣住民、関係機関の立場から考察し、多機関・多職種の視点からどのように解決への糸口を導くか事例から学ぶ。 災害が発生することを想定し、地域で孤立する方々への課題解決に向けて、住民と行政それぞれの役割を考察し、多機関・多職種の視点から事例を通して学ぶ。		
講 師	十文字学園女子大学 副学長 今井 伸氏		

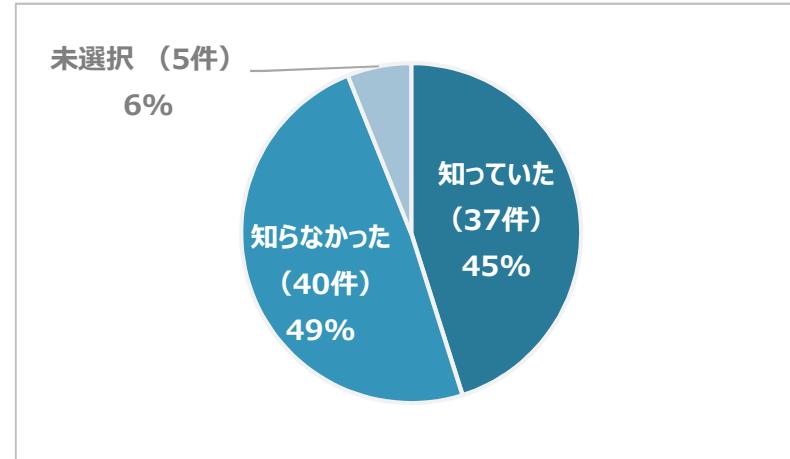


令和7年度のくらしのまるごと相談課の取組について

受講者アンケート

【座学研修「チームかつしか」を作るアンケート結果（一部抜粋）】

Q 重層的支援体制整備事業について知っていましたか。



重層的支援体制整備事業を知っていると回答した受講生は**45%**、知らなかつたと回答した受講生は**49%**。

重層的支援体制整備事業に関する区職員・関係機関職員を集めた研修でも、半数近くの方が、制度の仕組みを知らなかつたという現状。

- ✓ 一人でも多くの方が重層的支援体制整備事業を理解することが、地域共生社会へつながるため、次回の研修は会場規模を拡大し、より多くの受講生が講義を受講できるようにしていく。

【事例検討研修「地域で支え合う福祉！」

事例から学ぼう受講者の声（一部抜粋）】

事例検討研修では、「参加者が地域の課題をよりリアルなものとして捉え、区役所内部だけでなく、民間事業者や地域の方々との関係づくりをしながら連携の効果を体感できるものにしよう」という想いから、各部署や関係機関の狭間にある問題事例を劇に仕立てた研修を実施しています！

- ・引き続き、事例検討の研修を実施していただきたい。
- ・他部署、他機関の仕事内容を知らないことが多い（他部署、他機関との交流具合も）、横のつながりが大切だと思いました。
- ・様々な視点からの意見をきくことで、新たな発見があり、自身の職場から、何を考えたりしたらよいか考える機会になるので、是非それぞれの事業者の若手スタッフにも共有していきたい。
- ・様々な職種の方と交流ができ、良かったです。今後とも、このような場を設けていただきたいです。

- ✓ 他部署や他機関との顔の見える関係性の構築のほか、様々な視点からの意見を聞くことで新たな発見につながるなど、グループワークを活用した事例検討の効果や必要性も確認できた。

令和8年度研修実施予定

令和7年度と同様に座学研修1回と事例研修3回を併用して行うことで、多機関連携の強化を図っていく。

令和7年度のくらしのまるごと相談課の取組について

2 くらしのまるごと相談窓口の周知

投稿はこちらから
(葛飾区公式X)



実施内容

葛飾区の公式X（旧：Twitter）にて、暮らしのまるごと相談窓口のPRを目的に事例をアレンジしたマンガの連載をスタート。

12月5日
投稿分



12月12日
投稿分



12月26日
投稿分



令和7年度のくらしのまるごと相談課の取組について

3 出張相談会の実施の実施

実施目的

区役所に来庁できない方の相談機会の拡大
及びくらしのまるごと相談窓口のPR

実施内容

金町地区センター及び堀切地区センターでは、社会福祉協議会で実施している小地域福祉活動の開催に合わせて同会場で出張相談会を行っており、新小岩北地区センターでは、生活に役立つぶち講座などの企画で集客をしつつ、相談会を行っている。相談者以外の方に対しても、くらしのまるごと相談窓口のチラシを配布することでPRにつなげている。

実施状況

会場	開催日	相談人数	チラシ配付
金町 地区センター	4月9日(水)	2名	—
	5月14日(水)	4名	7名
	6月11日(水)	1名	6名
	7月9日(水)	3名	12名
	8月13日(水)	2名	9名
	9月10日(水)	4名	4名
	10月8日(水)	1名	4名
	12月10日(水)	3名	10名
	1月14日(水)	2名	2名
	3月11日(水)	※予定	

会場	開催日	相談人数	チラシ配付	備考
堀切 地区センター	5月13日(火)	3名	12名	
	7月15日(火)	2名	6名	
	9月16日(火)	4名	3名	
	11月18日(火)	3名	8名	
	1月13日(火)	1名	3名	
	3月10日(火)	※予定		
新小岩北 地区センター	6月10日(火)	0名	32名	
	8月20日(水)	0名	15名	
	10月14日(火)	5名	5名	ぶち講座「知って得する高齢者向けサービス」実施
	12月17日(水)	11名	11名	ぶち講座「『我が家への災害への備え』&災害用スリッパ作り体験
	2月10日(火)	※予定		ぶち講座「自転車や歩行者の交通ルール」



令和7年度のくらしのまるごと相談課の取組について

4 区内イベントへの出展

実施目的

区民が集まる場所に出向くことにより、くらしのまるごと相談窓口のPRにつなげる。

出展実績

消費生活展	10月12日（日）	チラシ配布（計40部）
ボランティアまつり	11月16日（日）	ポケットティッシュ・チラシ配布（計156個）



5 ひきこもり当事者会（かつROOM）の実施

実施目的

ひきこもりの当事者や生きづらさを感じている方にとって安心できる居場所をつくり、同じような悩みを抱える方と交流する場を知ることで社会生活から孤立することを防ぐとともに、困ったときの相談先を知る機会として実施

実施内容

「かつROOM」という名称で、今回は、ゲームを行いながら参加者同士が交流を図るプログラムを企画。ボードゲームを通して居場所づくりに関わり、地域交流活動を行っている大学ボランティアサークルにゲームの指導役をお願いした。

実施状況

【実施日・会場】

実施日：12月3日（水）午後2時～4時
会場：区役所7階 703会議室

【参加者数】

参加者13名



令和7年度のくらしのまるごと相談課の取組について

6 ひきこもり当事者及び家族会（だんご虫Time）の実施

実施目的

ひきこもりの当事者や家族が定期的に集い、同じような悩みを抱える方と交流することで、社会生活から孤立することを防ぐとともに、困ったときの相談先や日常生活に役立つ情報が得られる機会として実施

実施内容

「だんご虫Time」という名称で、ひきこもりの家族が集い、座談会形式で交流できる場を設ける。座談会では、ひきこもり元当事者や福祉関係者にファシリテーターをお願いしている。

実施状況

年度	開催日	開催時間	参加者数
令和6年度	3月5日(水)	午後5時30分～6時30分	4名
令和7年度	5月21日(水)	午後4時30分～6時30分	3名
	7月2日(水)	午後4時30分～6時30分	2名
	9月4日(木)	午後2時～4時	2名
	11月19日(水)	午後4時～6時	3名
	1月21日(水)	午後4時～6時	
	3月4日(水)	午後4時～6時	※予定



7 (令和8年2月実施予定) ひきこもり支援者交流会

実施目的

お互いの顔を知り、支援者同士がつながることで、より良い支援ができるよう、ひきこもり支援に携わる支援者の情報交換の場として実施